



講啓時の西井田之候

御起居並御清穢一事

致候事

借豚見敏音病身之儀

御聞取候事、能く電信を

以て病状及御聞取の難事

有候御片、物々病状御聞取

に、お察し申

本人去平月廿六日、不圖御

以て、御起居中、事儀取及、平

去月初頃より、腹部に腫物様

のものを生じ、何となく氣力衰

弱、肩太字の方、亦有可休候

後、迄、御起居を致し、後、御起居



弱、肩、大骨の方より可体、喉
後の追試、能を致し、後、静脈の
脈交、白て、せり、よる、る、る、早、速
佐賀の醫者、二、診、察、せ、り、め、が、
是、一、肋、骨、二、病、あり、容、易、の、事、に
あり、す、と、の、り、こ、ら、大、に、お、ろ、き、お、ま、
七、日、福、岡、の、醫、科、大、学、病、院、に、診、
往、せ、三、宅、と、申、す、醫、学、博、士、に、診
察、を、請、ひ、に、懇、切、に、診、察、な、
是、れ、一、は、肋、骨、カ、リ、エ、ス、と、申、し
肋、骨、の、腐、蝕、を、ら、病、あり、急、に、手
術、を、要、す、と、の、事、を、お、ま、
同、博、士、の、執、刀、に、右、胸、部、を、切、開
し、右、胸、の、肋、骨、に、三、寸、許、切、断
陰、影、あり、其、後、を、ら、と、既、に、三
回、右、胸、に、お、ま、
言、に、依、ん、だ、理、想、的、に、良、好、あり、と
の、事、に、お、ま、併、し、切、開、し、た、ら、部

言に依んが理想的に良好ありと
の事にはまじし併し切開したる部
分頗る大森が其創々痛
癒合致さる今後猶一二週間の
在院治療を要する事を、世所
在及手術なる病根、全く除去し
たりと申、はる其、今後平一と
人並の健康體に恢復せざるに
於開と存し、小生の、是日未だ
大抵福岡に滞在在在時、
夕刻福至より田花氏、三軒
返電に逐刻出、次第に、
五、六日、幸し、
通小生一人の女児、年來難治
の病、内痔、今後長男此大患に
四程小生の不幸、
一、
大病出、
一、

於閑と存、小生の
大抵福園ニ帰在在時、
夕刻福園より田舎に
返電、遂に刻は、次男の
至、而して、幸、
通小生一人の女史、
病、而して、
四柱、小生の不幸、
去病、出、
多、
方、

武富時敏

大隈老伯閣下

侍者